

冬のガス給湯器周りの凍結予防対策について

謹啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

厳しい寒さが続いておりますが、最近凍結によると思われる「お湯が出ない」とのお問い合わせを多数いただいております。

給湯器は凍結防止ヒーターで保護されているため、給湯器本体が凍結することはあまりありません。よって「お水は出るがお湯が出ない」場合は、給湯器周りの水道管の凍結が考えられます。水道管は基本的に埋設されているため、凍結せずに済む場合がほとんどです。それに対して給湯器の水入口の開閉バルブ部分は、外部に露出しており凍結の可能性が高くなっております。

下記に凍結時の対応と予防策をご案内いたしましたので、参考になさってください。

なお、同様の症状でも凍結以外に原因がある場合もあります。下記の対策を施されても症状に改善が見られない場合は、お近くの営業所、またはコールセンターへお問い合わせください。

敬白



【凍結によりお湯が出なくなってしまった場合は…】

- 外気温が上がり、自然にとけるまで待ちましょう。
- お急ぎの場合は、ヘアードライヤー等でバルブ付近をゆっくり暖めましょう。
(配管の保温材は熱に弱いので、急激な過熱は避けてください。)

《注意：凍結部に直接お湯をかけないでください！》

水が保温材内に入ると翌朝凍結を助長させる原因となったり、電源コードやリモコン線に水をかけると故障の原因となります。

また、急激な温度変化は配管の破裂の危険があります。

【凍結予防策】

- タオルや新聞紙などをバルブ周りに巻いて、翌朝の凍結を防止する。
- 凍結が予想される日は、水を流し続ける。
 1. 給湯器の運転スイッチを「切」にする。
 2. お湯の水栓蛇口から少量のお水を流し続ける。
- 配管に凍結防止ヒーターを取り付ける。
 - ・ お近くの営業所にご相談ください。